



ラプターのチャームポイントは「顔」ということで、グリルはT-REX製X-Metalをチョイス。周囲を縁取るピラスポルトと、中央に大きく描かれたRAPTORのロゴが圧倒的なインパクトをもたらしている。ちなみにこのグリルはメーカーのラインナップにはない非売品。それにライトもLEDでコの字型に光るインナーブラックタイプのプロジェクターヘッドライトと、LEDチューブで周囲を覆ったフォグをあしらった個性的な顔を演出。

チャームポイントである顔にさらなるインパクトを与える

さらにラプターに関しては2017年モデルが発売されたばかり。さらにラムからも「レベリ」というオフローダーがこのジャンルに名乗りを上げた。まさに目が離せないほどビックアップトラックは活況を呈している。

これほど特異なモデルだけに人気はもの凄く高く、アメリカでも入手は困難。というところは日本ではそれ以上となる。だが、目の前には2台のラプターが並ぶこの光景。滅多に見られるものではないが、これを可能としているのはオートギャラリー東京の手腕が際立っているからだろう。

もう一方の2012年型はというと、ラプターのイメージカラーであるレースレッドを継い、フードはマットブラックでラッピングされている。

ラグジュアリーパッケージを装備。この2台をオートギャラリー東京のオリジナルカスタムでハイセンスに仕上げている。まずは2011年型。ベースカラーのブラックを引き立てるべく細部をくまなくブラックアウト。バンパー、フェンダー、ホイールは純正ランニングボード同様にマットな質感を与え、レンズ類はイマドキらしくLEDタイプへと換装。そして極め付きはグリル。FORD LOGOの代わりにRAPTORロゴが、とにかく強烈なインパクトを放っている。

しボテイサイドにはグラフィックスト、アグレッシブな装い。さらにポトムスには、ゼネラルグラハムのレッドレタータイヤ&KMCのビードロックホイールを組み合わせて達しさを演出。人気モデルにひと味加えて華麗に魅せるっていうのも粋だ。



黒で統一してワイルドなディテールを強調

フォルム全体との統一を図るためホイールはブラックアウト。しかしコレ、今流行りのラバーペイントによるもので割ることが可能。ランニングボードは純正。テールレンズもインナーブラックのLEDタイプへと交換。そして、前後バンパー&フェンダーもマットブラックにペイントして黒一色仕上げ。



I ♥ PICK UP TRUCK
トラックこそアメ車の本流

FORD F-150 SVT RAPTOR
AUTO GALLERY TOKYO



最強トラックはオリジナルの部分を見渡しても魅力的な要素が盛りだくさん!!

ベースは2011年型のスーパークルー・ラグジュアリーパッケージということで、もちろんサスペンションにはFOX製のコイルオーバーが装着されており、メカニカルなテストのスイッチパネル&メーター、ツートンカラーのレザーシートなど、メイクした箇所以外にも魅力が満載。

